

自由記入欄の概要

自由記入欄に頂いたご意見の主な内容

国分寺街道周辺地域の課題改善、都市計画道路や沿道のまちなみ整備等を求めるご意見

課題の改善・都市計画道路の整備等を求めるご意見	343件
うち現状の交通の課題の改善を求めるご意見	69件
歩行者にとって危険	33件
交通弱者にとって危険で不便	10件
自転車にとって危険	9件
騒音・排気ガスが問題	5件
渋滞が問題	4件
その他	8件
うち道路やまちなみの整備に関するご意見	274件
歩行者・自転車の通行空間を整備すべき	66件
都市計画道路を早期に整備すべき	38件
整備にあたって自然環境を保全すべき	31件
整備にあたって住環境を保全すべき	18件
整備にあたって景観に配慮すべき	15件
にぎわいを創出する施設等の整備が必要	14件
国分寺街道を整備すべき	12件
交通規制を行うべき	10件
無電柱化すべき	8件
その他	62件

都市計画道路の整備に反対のご意見

11件

※都市計画道路の整備以外に関するご意見についても、頂いております。

自由記入欄に頂いた主なご質問についての回答

Q：この都市計画道路事業は誰が行うのですか？

A：道路事業は東京都が行う予定です。市は道路整備にあわせて都市計画道路と国分寺街道周辺のまちづくりを行います。

Q：いつ頃事業は着手されるのですか？

A：「多摩地域における都市計画道路の整備方針（第三次事業化計画）」では平成27年度までに着手するべき路線として位置付けていますが、具体的なスケジュールはまだ決まっておりません。スケジュールが決まった段階で説明会等を開催する予定です。

Q：どうしてこのアンケートを市が行ったのですか？

A：将来の、道路整備にあわせたまちづくりの検討のための基礎資料とするために行いました。

Q：事業についてはどこに聞けば良いですか？

A：東京都事業ですが、まずは下記にお問い合わせください。また、「都市計画道路がどこを通るのか」については市の都市計画課窓口か市HPで、都市計画図で都市計画道路の場所をご確認いただけます。

お問い合わせ先

【連絡先】国分寺市都市建設部都市計画課
TEL 042-325-0111(内線：455)

※アンケート調査報告書の詳細につきましては、都市計画課窓口やホームページ等で閲覧できます。
(HPアドレス：<http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/>)

国分寺都市計画道路3・4・11号線周辺まちづくりに 関するアンケート調査の結果報告

国分寺街道周辺にお住まいの皆様へ

国分寺市が平成24年1月に実施しました、『国分寺都市計画道路3・4・11号線周辺まちづくりに関するアンケート調査』にご協力いただき、誠にありがとうございました。このたび、調査結果のとりまとめを行いましたので皆様概要のご報告をさせていただきます。

調査概要

調査対象

- ・調査対象区域（国3・4・11号線及び国分寺街道から約50m圏内）の居住者と土地建物所有者
- ・国分寺街道沿道の店舗経営者

調査実施期間

平成24年1月11日～平成24年1月23日

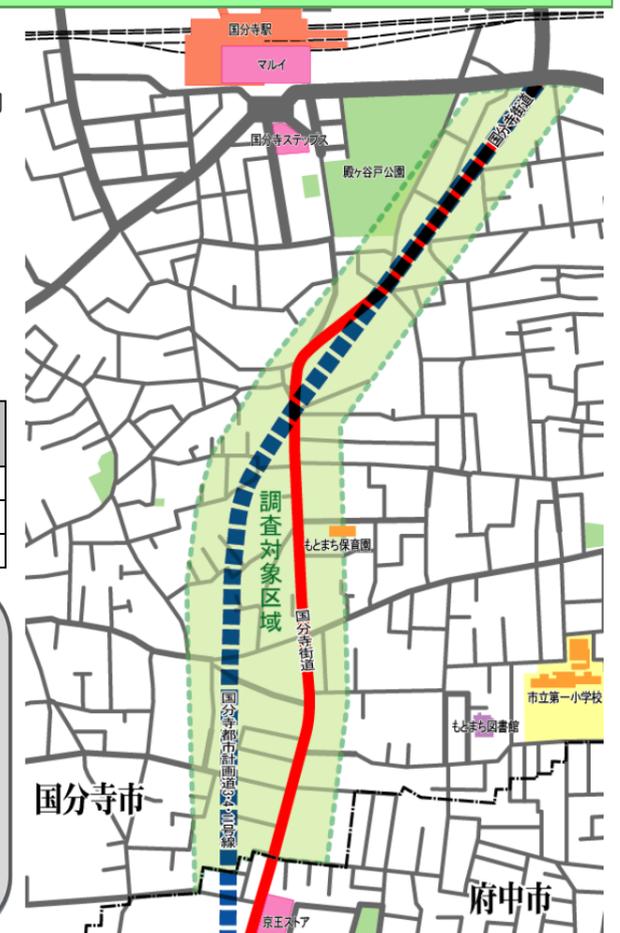
回収率

	合計	居住者	店舗経営者	土地・建物所有者
配布数	1,642	1,572	60	10
回収数	606	568	37	1
回収率	36.9%	36.1%	61.7%	10.0%

国分寺都市計画道路3・4・11号線外について

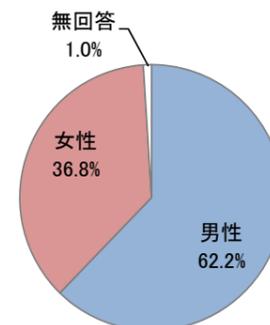
国分寺都市計画道路3・4・11号線外（以下、国3・4・11号線）は南北道路の整備が大きな課題になっている市及び東京都内において、東京都による整備が計画されている路線です。

平成18年度に策定された「多摩地域における都市計画道路の整備方針（第三次事業化計画）」において、国分寺市南町2丁目から府中市の東八道路までの区間を「優先整備路線」として位置づけています。

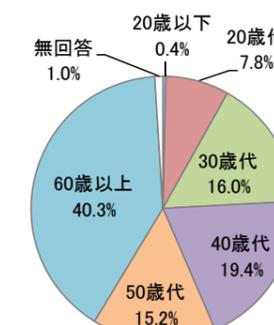


回答者の属性

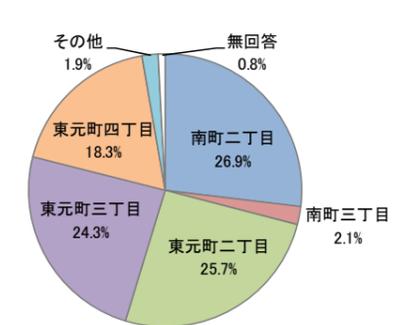
性別



年齢



住所



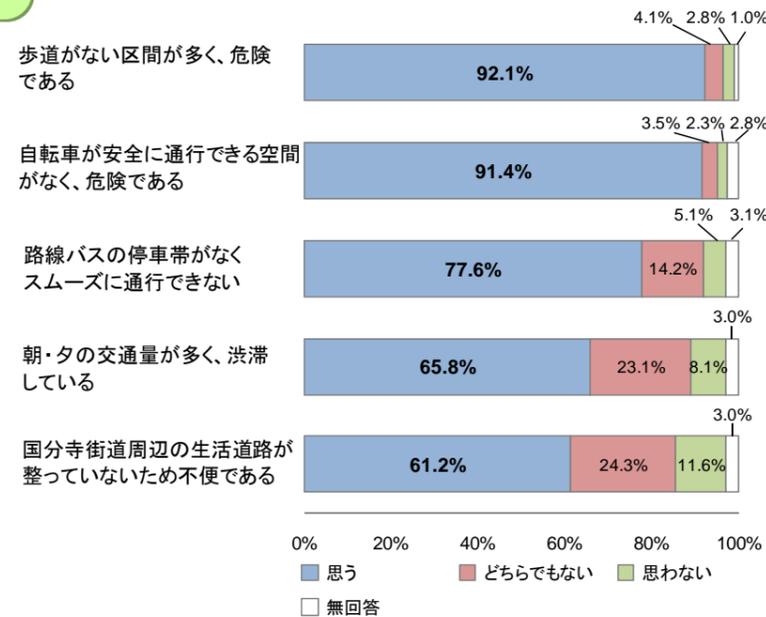
※グラフの数値は実際の数値の小数点2ケタ目を四捨五入して表示していますので、合計が100%にならない場合もあります。

(有効回答数：606)

現状の国分寺街道の課題

■ 交通の課題について

○5つの項目全てで、60%以上の方が課題として認識していることがわかります。中でも、“歩道がない区間が多く、危険である”と“自転車が安全に通行できる空間がなく、危険である”については90%以上の方が課題として認識していることがわかります。

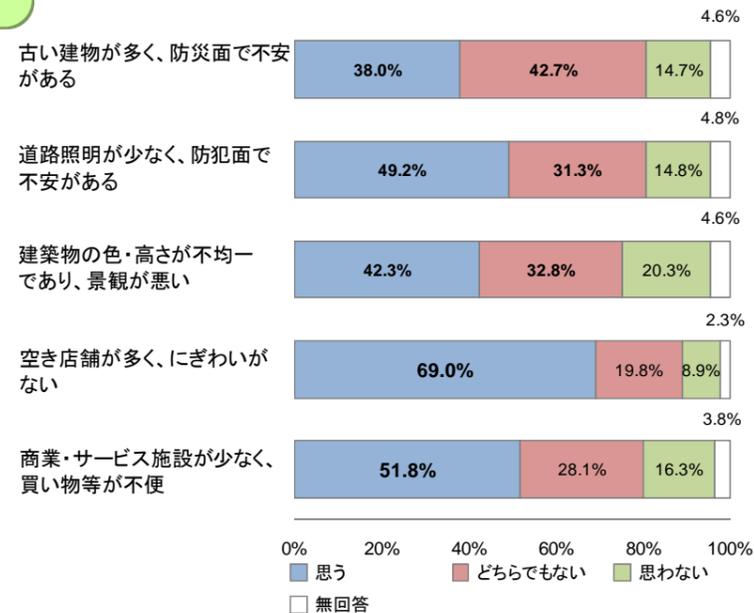


(有効回答数：606)

■ まちなみの課題について

○“空き店舗が多く、にぎわいが無い”と“商業・サービス施設が少なく、買い物等が不便”の2項目は50%以上の方が課題として認識していることがわかります。

○“古い建物が多く防災面で不安がある”と、“道路照明が少なく、防犯面で不安がある”と“建築物の色・高さが不均一であり、景観が悪い”についても30%以上と、課題として一定の認識を得ています。



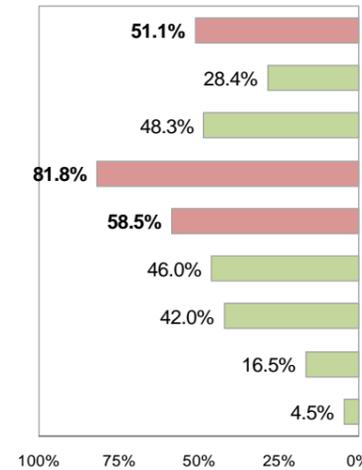
(有効回答数：606)

住所別の国3・4・11号線の道路と沿道のまちなみの整備のあり方

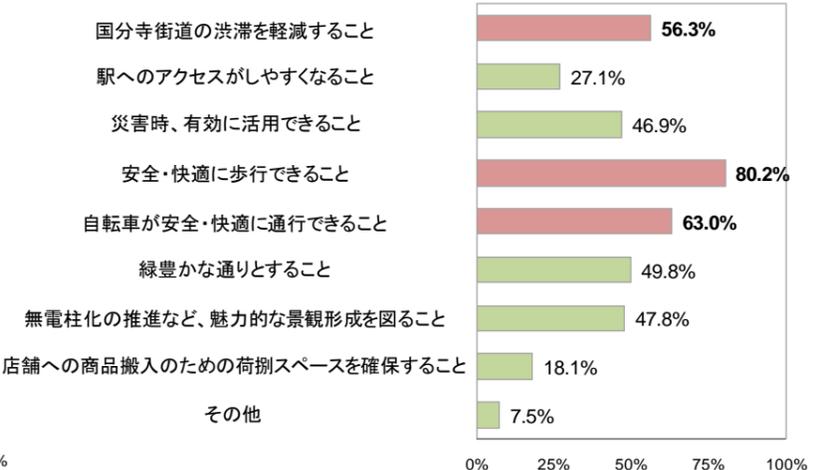
■ 住所別の国3・4・11号線の道路に期待することについて

○居住地によらず“安全・快適に歩行できること”と“自転車が安全・快適に通行できること”が特に期待されています。また、“国分寺街道の渋滞を軽減すること”も半数以上と多くみられます。

□南町 (有効回答数：176)



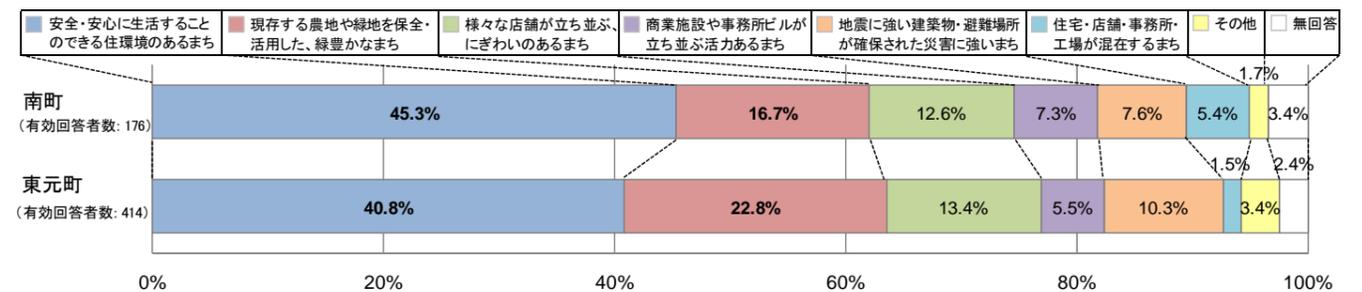
□東元町 (有効回答数：414)



■ 住所別の国3・4・11号線のまちなみの将来像について

○町別では「南町」、「東元町」ともに、“安全・安心に生活することのできる住環境のあるまち”と“現存する農地や緑地を保全・活用した、緑豊かなまち”が多く、「東元町」は“現存する農地や緑地を保全・活用した、緑豊かなまち”が「南町」より多くみられます。

○このことから、国分寺街道のまちなみの将来像同様に「東元町」の居住者においては現状のまちなみに近い状態となることを望む声が多いといえます。



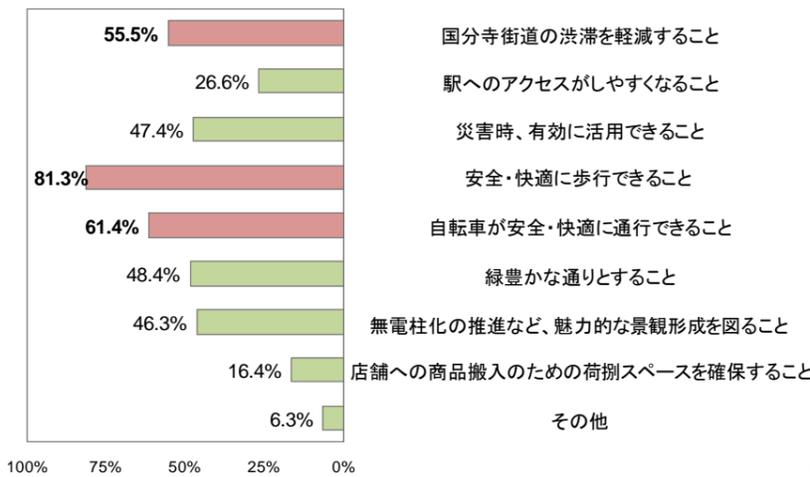
※グラフの数値は実際の数値の小数点2ケタ目を四捨五入して表示していますので、合計が100%にならない場合もあります。

国3・4・11号線の道路と沿道のまちなみの整備のあり方

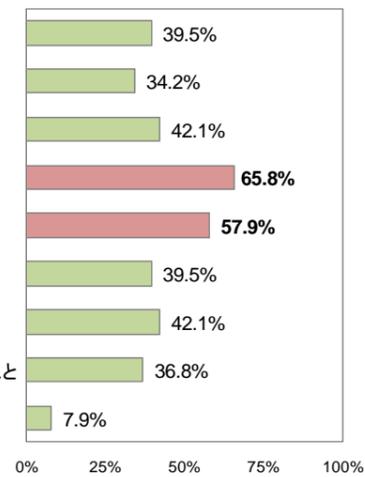
■ 国3・4・11号線の道路に期待することについて

○現状の国分寺街道の課題と呼応するように、“安全・快適に歩行できること”と“自転車が安全・快適に通行できること”が最も多くみられます。また、居住者においては“国分寺街道の渋滞を軽減すること”も半数以上と多くみられます。

□ 居住者（有効回答数：568）



□ 店舗経営者（有効回答数：37）

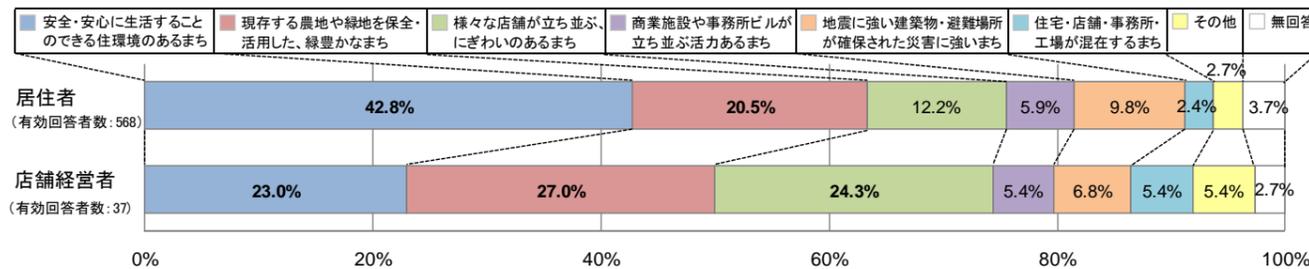


■ 国3・4・11号線のまちなみの将来像について

○居住者においては“安全・安心に生活することのできる住環境のあるまち”が42.8%と最も多くみられます。

○店舗経営者においても、“安全・安心に生活することのできる住環境のあるまち”が23.0%と多いものの、“様々な店舗が立ち並び、にぎわいのあるまち”も24.3%と同様に多くみられます。

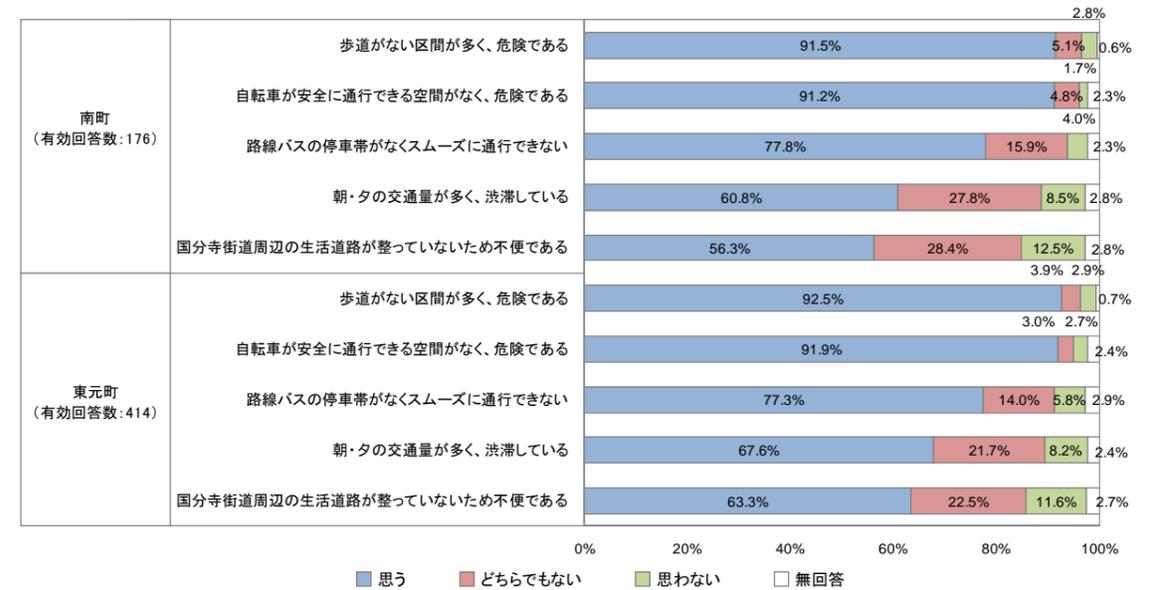
○“現存する農地や緑地を保全・活用した緑豊かなまち”が居住者では20.5%、店舗経営者では27.0%と共通して関心のある将来像といえます。



住所別の国分寺街道の課題

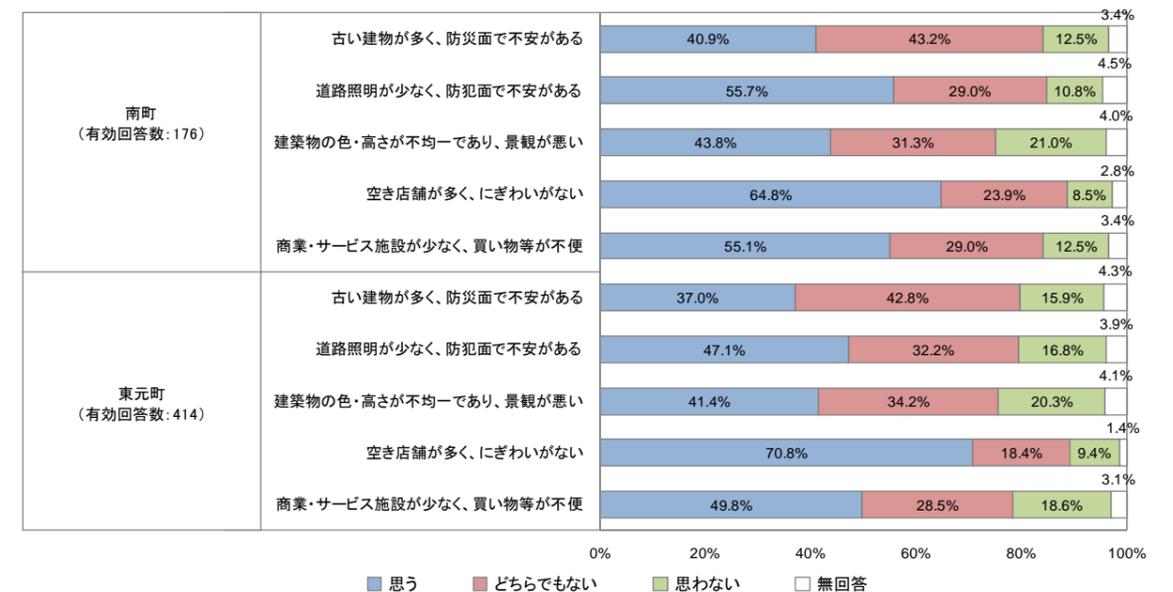
■ 住所別の交通の課題について

○町別では、“歩道がない区間が多く、危険である”、“自転車が安全に通行できる空間がなく、危険である”、“路線バスの停車帯がなくスムーズに通行できない”は課題であると答えた人の割合が「南町」と「東元町」ともに同程度であるのに対して、“朝・夕の交通量が多く、渋滞している”と“国分寺街道周辺の生活道路が整っていないため不便である”については「東元町」の方が若干多いといえます。



■ 住所別のまちなみの課題について

○「南町」と「東元町」ともに、“空き店舗が多く、にぎわいがない”と考えている人が多く、その割合は「東元町」の方が若干多いといえます。



※グラフの数値は実際の数値の小数点2ケタ目を四捨五入して表示していますので、合計が100%にならない場合もあります。

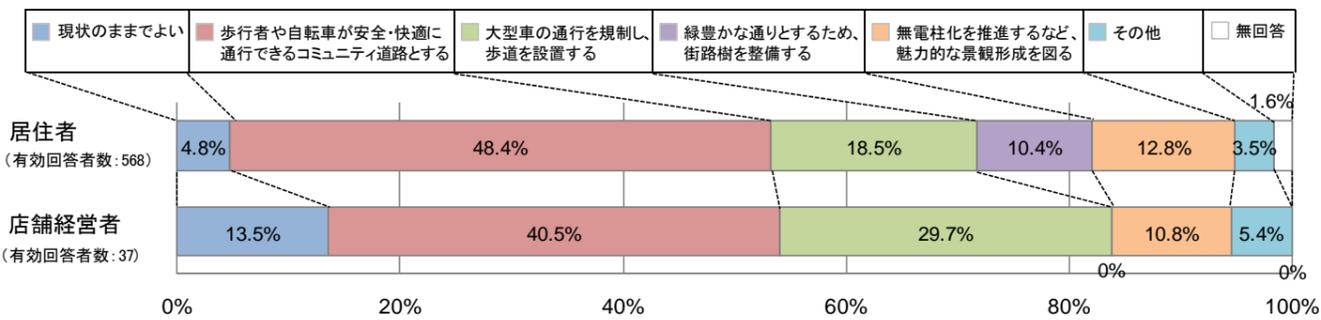
国分寺街道の道路と沿道のまちなみの整備のあり方

■ 道路の将来像について

○「居住者」、「店舗経営者」ともに“歩行者や自転車が安全・快適に通行できるコミュニティ道路とする”が最も多く、次いで“大型車の通行を規制し、歩道を設置する”が多くみられることから歩行者や自転車が安全に通行できる道路整備が国分寺街道に求められています。

○「居住者」は、“緑豊かな通りとするため、街路樹を整備する”が10.4%であるのに対し、「店舗経営者」は0%と街路樹の整備への関心については違いがみられます。

(コミュニティ道路:自動車の通行を主な目的としない、歩行者の安全性や快適性を考慮した歩車共存道路です。)

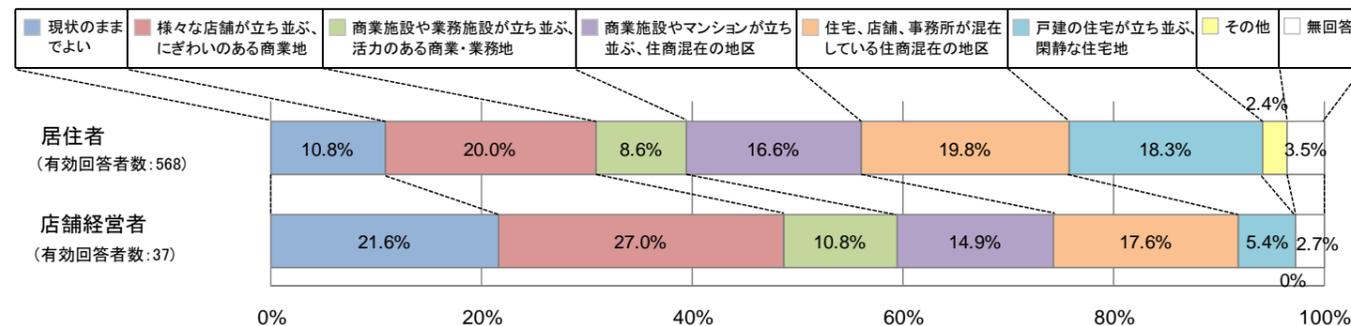


■ 沿道のまちなみの将来像について

○「居住者」、「店舗経営者」ともに“様々な店舗が立ち並び、にぎわいのある商業地”と“住宅、店舗、事務所が混在している住商混在の地区”の2項目が共通して多いといえます。

○「居住者」は“戸建の住宅が立ち並び、閑静な住宅地”が多く、店舗経営者は“現状のままでよい”が多くみられる点が違いといえます。

○沿道のまちなみの将来像については、「居住者」、「店舗経営者」ともに意見が分かれているといえます。

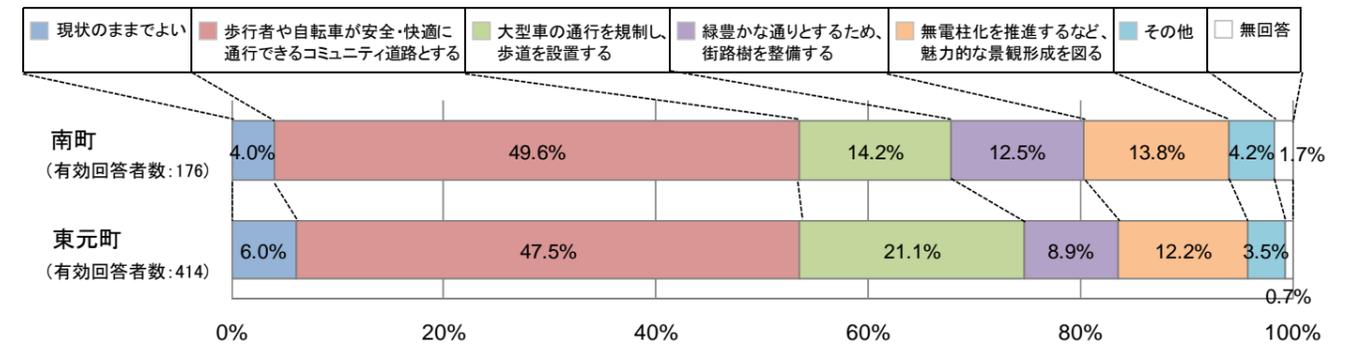


住所別の国分寺街道の道路と沿道のまちなみの整備のあり方

■ 住所別の道路の将来像について

○住所によらず“歩行者や自転車が安全・快適に通行できるコミュニティ道路とする”が最も多くみられます。

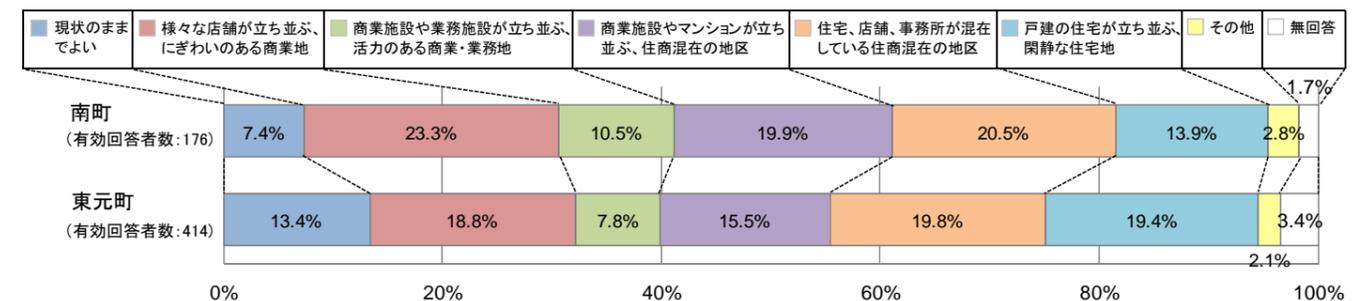
○「南町」と「東元町」では、“大型車の通行を規制し、歩道を設置する”に大きな差がみられます。「東元町」の方が高いことから、大型車による、歩行者交通への影響を国分寺街道の南側の居住者の方がより問題と感じているといえます。



■ 住所別の沿道のまちなみの将来像について

○「南町」は“様々な店舗が立ち並び、にぎわいのある商業地”、“商業施設やマンションが立ち並び、住商混在の地区”、“住宅、店舗、事務所が混在している住商混在の地区”が多いことから、商業地としてのまちなみを望む声が多いといえます。

○「東元町」も“様々な商業地が立ち並び、にぎわいのある商業地”、“住宅、店舗、事務所が混在している住商混在の地区”が多くみられますが、“現状のままでよい”や“戸建の住宅が立ち並び、閑静な住宅地”も「南町」に比べ多くみられます。



※グラフの数値は実際の数値の小数点2ケタ目を四捨五入して表示していますので、合計が100%にならない場合もあります。